

**教育長** 新型コロナウイルス感染症対策として、学習を学校と家庭の区別なく実施できる手段であるICT環境整備とその活用は大変重要と考えている。本市でも、オンライン学習のための端末や機器の整備について、今年度中に完了するよう準備を進めている。さらに、ICT化を推進するため、9月中に教育情報化推進委員会を開く予定である。子供たちの学び方が大きな転換期を迎える今をチャンスと捉え、児童・生徒の成長や興味に合わせて、個性を伸ばせる教育と学習環境を実現できるよう取り組む。



## 「新しい生活様式」に向けた 施策の具体化について問う

**議員** GIGAスクール構想関連  
事業等との連携と、児童・生徒、  
学生や教員が学校・自宅で使うI  
CT環境の整備についてたずねる。

**市長** 1つ目の包括的相談機能は、地域包括ケア推進室が関係課と相談支援機関の連携調整を行い、支援を行っている。また、府内の体制について定期的に協議する。2つ目の参加支援の機能は、行政と地域の専門機関が連携し、積極的に訪問し、継続して関わりを続ける体制を構築するとともに、専門職の確保や専門性の向上に努める。3つ目の地域づくりの機能は、地域ネットワークの構築に努め、人と社会がつながる地域での支え合いを生み出す。この3つの機能を一体的に実施し、誰も孤立しない地域共生社会の実現を目指したい。



## 重層的支援体制整備事業 の取組について問う

**議員** 3つの支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業が新たに創設されることとなつた。どう取り組むかたずねる。

**議員** 災害時の行政と市民の役割分担の詳細はできたのか。また、災害直後は、市民自ら地域の中で完結すべきと考えられるのだが。

**危機管理部長** 災害直後は、地元の方で避難所運営をしていただきたい。職員が持っていく避難所開設用の資機材10箇所分はすぐ出せるよう準備している。コロナ禍における感染防具一式も10セット用意している。現地に先に渡す必要があれば、今後再検討したい。

市長 財源はしっかりと確保した上で、投資した結果である。



**市民の生命・生活を守る  
体制をどう考えるのか**

**議員** 島しょ部医療は、島民だけではなく、移住者、観光客にとつても重要である。市は、お金がない中で新造船まで至ったのか。

**市長** 熱中症リスク軽減のため、屋内プールとして整備すべきと考える。50mプールは利用実績等から新たに整備せず、25mプールと幼児用プールを整備したい。温水プールは、整備費用や維持管理費用が多額になるため、今後慎重に検討する。解体した50mプールは仮設駐車場とし、現在のプール北側駐車場に新プールを建設する。



**老朽化した運動公園プールの事業計画はどうなった**

**議員** 運動公園のアーレルは現在使用可能とされる25mアーレルも、老朽化が激しく改築の必要がある。不必要的工事を無くし、計画性を

**市長** 熱中症リスク軽減のため、屋内プールとして整備すべきと考える。50mプールは利用実績等から新たに整備せず、25mプールと幼児用プールを整備したい。温水プールは、整備費用や維持管理費用が多額になるため、今後慎重に検討する。解体した50mプールは仮設駐車場とし、現在のプール北側駐車場に新プールを建設する。

